

これまでのとりくみ

研究主題

「自ら考え、伝え合う力の育成～学校図書館を活用し、伝える力を育てる～」

そのために

○図書館資料を活用した授業の充実

- ・本を手に取りやすい環境を整える
- ・情報を集める際には情報カードを使用し、それを整理しまとめることで情報活用能力を高める

○読書の推進

- ・読書タイムの設定する
- ・図書館イベントの充実させる

※情報活用能力…情報を主体的に捉えながら、何が重要かを考え、見出した情報を活用していく力

教科の結果より 中央小学校／大阪府／全国

【国語】

- ・目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

48.0 / 53.7 / 56.6

【算数】

- ・角柱の底面や側面に着目し、五角形の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できる。

65.3 / 71.8 / 72.0

書く力が弱い

全国学力・学習状況調査の結果より

児童・生徒質問紙より 中央小学校／大阪府／全国

- ・普段（月曜から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか。

2時間以上

66.3 / 52.8 / 49.2

- ・普段（月曜から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画をしますか。

2時間以上

48.4 / 39.2 / 43.0

家庭学習の時間が短い

これからのとりくみ

○朝学の時間を見直し、書く時間を確保することで書く力をつける。

○情報活用能力を身に付けさせるために、図書館資料やインターネットから情報を得たり、得た情報を取捨選択しまとめたりする授業を充実させ、情報を扱うことに慣れさせる。

○ゲームや動画を見る時間が長いことで悪影響を子どもに指導するとともに、家庭と協力し、ゲームや動画の時間を減らし、家庭学習や読書の時間を増やせるようにする。

○タブレットの使い方を見直し、系統立ててスキルを身に付けさせるとともに、情報モラルについても指導していく。